

宮城県知事 村井 嘉浩 殿

2017年2月15日

仙台港の石炭火力発電所建設問題を考える会

代表世話人 長谷川 公一

明日香 壽川

大気汚染監視体制の拡充に関する申入書

拝 啓

仙台港に建設中の石炭火力発電所の問題では、ご尽力いただきありがとうございます。昨年12月19日の記者会見において、本件につきまして「住民の皆さまの不安を払拭させるために汗をかくというのは当然であります」と発言いただきましたことを大変心強く思っております。

仙台パワーステーション株式会社は、本年4月より試運転開始、10月より営業運転開始を予定しており、大気汚染や健康への影響を危惧する地域住民の不安の声は、日増しに高まっております。

住民の不安の軽減のためには、稼働開始前後の環境への影響を精確に評価するために、大気汚染体制の拡充を緊急に図ることが不可欠です。

つきましては、

・宮城県保健環境センター大気環境部による大気汚染監視体制について、近隣の七ヶ浜町、塩釜市、多賀城市、仙台市東部（中野、高砂、福室、七郷）の観測点を拡充し、SO_x、NO_x、O_x、PM2.5、炭化水素のすべてについて測定できるようにすること

を申し入れいたします。

本申し入れに対しまして、今月中にご返信くださるようお願いいたします。

よろしくご高配ください。

敬 具